

2018年 お月見山行報告

観月会と三ノ搭尾根から三ノ搭、烏尾山

(報告) H

3年振りに開催した「お月見山行」のご報告です。

2018年の中秋の名月は9月24日ということで、前日の9月23日に丹沢・大倉の神奈川県立山岳スポーツセンターに宿泊して観月会を行い、翌24日は「三ノ搭尾根歩き」と「新茅ノ沢廻行」の参加希望者2チームで丹沢表尾根の烏尾山に登ることにしました。

観月会には14名と多数ご参加いただき、ありがとうございました。また、車で参加して買い出しにご協力いただいた5名の皆さん、本当にご苦労様でした。

1. 観月会 9月23日(日) 神奈川県立山岳スポーツセンターにて

【メンバー】 計14名



山岳スポーツセンターは自炊の宿泊施設なので、車を出して頂いた方には14時にヤオコー秦野店にご集合いただき、まずは食材やお酒の買い出しをしました。アルコール類と、なるべく手間をかけずに楽しみたいので調理が要らない各種お惣菜、米2キロなどを購入しました。

食材の調達後、15時頃に小田急線でご参加の皆さんと渋沢駅で合流し山岳スポーツセンターへ。

山岳スポーツセンターに着いたら早速食堂で宴席を準備し観月会を始めました。が、残念ながら空は厚い雲に覆われ、結局中秋の名月は観ることはできませんでした。

宴も終盤に差し掛かった19時半頃、「秦野たばこ祭・花火大会」の花火の打ち上げが始まったので、散歩がてら外に出て「風の吊橋」で約30分間、花火の見物をしました。

厨房でのNさんを中心に女性の皆さんのちょっと一手間追加で大変身したお惣菜、十分な量のアルコールで大いに盛りあがって楽しい観月会となりました。

2. 丹沢・三ノ搭尾根から三ノ搭、烏尾山 9月24日(月)

【メンバー】 計6名



心配していた天気は青空も少し広がり良好。Nさんと女性の皆さんが準備してくださった充実の朝食を食べ、希望者6名で山岳スポーツセンターから三ノ搭尾根への登山に出発しました。先発した新茅ノ沢廻行チームのお二人とは烏尾山で合流予定です。

三ノ搭尾根登山口からの登山道は地面が湿っていたのでヤマビルを避けるために入らず、牛首までは舗装された広い林道を約1時間歩くことにしました。牛首から登山道に入ってすぐのあたりは、やはりヤマビルがいたようで被害者1名。その後はヤマビルの被害や目撃も無く、三ノ搭山頂には出発から約3時間ほどで到着しました。

三ノ搭尾根では他の登山者に全く会いませんでしたが、ヤビツ峠から丹沢表尾根を登ってくる登山者は多く、三ノ搭避難小屋に泊まっていた人もいたようです。

山頂は雲に囲まれ遠望なし。地味な樹林帯のルートを頑張って登ってきたのに、小生お気に入りの眺望を皆さんと一緒に楽しむことができず少し残念でした。でも、冷たい秋の空気は心地良く、ゆっくり過ごす時間もたっぷりあったので山頂でのひとときを皆さんと楽しみました。

続いて、新茅ノ沢チームと合流する予定の烏尾山へ表尾根を進みます。お地蔵さんのあたりから少々滑り易い下りが続きますが慎重に歩き、鞍部から少しの登りだけで烏尾山にほぼ予定通り到着しました。新茅ノ沢チームの到着までは1時間くらいありそうなので、ここで大休止です。



寒ければ烏尾山荘に入って暖かいコーヒーでも、というところですが、心地よい山頂のベンチで雑談やお菓子で時間つぶしをしました。

新茅ノ沢チームの到着を1時間以上待ちましたが、たぶん途中で苦戦している場所があるのだろうと思い、我々は先に出発することにしました。

計画では、行者ヶ岳から政次郎ノ頭まで行って政次郎尾根を下る予定でしたが、新茅ノ沢チームの到着が遅れていること、表尾根を進んでも眺望が期待できないことから、新茅ノ沢チームにメールでルート変更を送信し烏尾尾根を下ることにしました。

歩き易いけど面白味の無い樹林帯をひたすら下って水無川沿いの新茅山荘に到着すると日が差していて、雲が掛かっていたのは稜線付近だけだったようです。新茅ノ沢チームの車も停まっていたのでここで待つことも一瞬考えましたが、愛知からご参加のYさん、Kさんの帰路が長いので少しでも早く帰ることができるよう戸沢林道を先に進むことに。

長い林道を歩いて山岳スポーツセンターに到着し、帰宅の準備をしていると新茅ノ沢チームのお二人も割と早く到着して、最後は全員揃っての無事下山となりました。

丹沢表尾根での眺望が楽しめなかったのは残念でしたが、とても居心地の良い山歩きを楽しむことができました。

【記録】 山岳スポーツセンター6:40-7:40 牛首-9:33 三ノ搭 9:57-10:25 烏尾山 11:47
-13:00 新茅山荘-14:15 山岳スポーツセンター



